

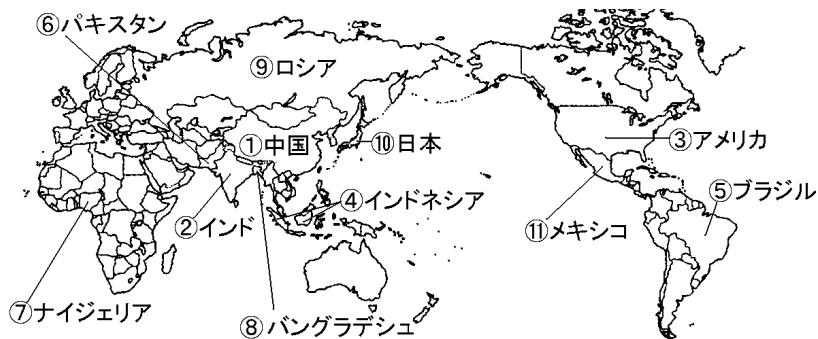
【】人口

【】世界の人口

[解答 1]69 億人

[解説]

2010 年の世界人口は約 68 億 9600 万人である。人口の多い順に人口 1 億人以上の国をあげると、中国(13.4 億人)、インド(12.2 億人)、アメリカ(3.10 億人)、インドネシア(2.4 億人)、ブラジル(1.9 億人)、パキスタン(1.7 億人)、ナイジェリア(1.6 億人)、バングラデシュ(1.5 億人)、ロシア(1.4 億人)、日本(1.3 億人)、メキシコ(1.1 億人)である。(2010 年現在)



(統計修正)「日本国勢図会 2012/2013」P33

[解答 2]X ロシア Y アメリカ Z 中国

[解説]

インド・インドネシアからイが人口だとわかる。面積は、ロシア(X)・カナダ・アメリカ(Y)・中国(Z)の順。人口は、中国(Z)・インド・アメリカ(Y)の順。

(統計修正)「日本国勢図会 2012/2013」P34～

[解答 3]イ

[解説]

人口が世界一の国は中国である。アはロシア、イは中国の一人っ子政策、ウは日本のことを述べている。

[解答 4]2

(統計修正)「日本国勢図会 2012/2013」P34

[解答 5]約 6 分の 1

[解説]

世界の人口は約 69 億人，インドの人口は 12 億人なので， $69(\text{億人}) \div 12(\text{億人}) = \text{約 } 5.75$  となり，インドの人口は世界の人口の約 6 分の 1 である。

[解答 6]40%

[解説]

中国 13.4 億人，インド 12.2 億人，アメリカ 3.1 億人の合計は 28.7 億人で，世界の人口は約 69.0 億人なので， $28.7(\text{億人}) \div 69.0(\text{億人}) = \text{約 } 0.42$

(統計修正)「日本国勢図会 2012/2013」P34～

[解答 7]ユーラシア大陸

[解説]

ユーラシア大陸はアジア州とヨーロッパ州にまたがる大陸である。アジア州は人口が最も多い地域で，世界の人口の約 60%(2010 年)が集中している。ヨーロッパ州も人口が多く全世界の 11%(2010 年)をしめる。したがって，ユーラシア大陸の人口は，世界全体の 71%(= 60 + 11)である。

(統計修正)「日本国勢図会 2012/2013」P33

## 【】人口爆発

[解答 8]人口爆発

[解説]

世界人口は 20 世紀に入って急速に増加した。20 億人(1930 年頃)→30 億人(1960 年頃)→40 億人(1975 年頃)→50 億人(1985 年頃)と推移し，2010 年の世界人口は約 69 億人になった。このようなアジア・アフリカの発展途上国での急速な人口増加を人口爆発という。発展途上国では，労働力の確保のために多くの子どもを産むために出生率が高かった。以前は，乳児死亡率も高かったため，人口増加率はそれほど高くなかった。しかし，医療施設の充実や衛生知識の普及によって，乳児死亡率が大幅に低下したため，人口が急増した。

[解答 9](1) B (2) エ

[解説]

(1) 人口増加が著しい地域はアジアとアフリカであるが，人口が最も多いのは A のアジアなので，B がアフリカと判断できる。

(2) ア～ウは先進国の人口の特徴である。

[解答 10]ア

[解説]

人口爆発がおこっているのはアジアとアフリカであるが、特にアフリカにおける人口急増が著しい。1950年に2億2400万人だったアフリカの人口は、2010年には10億2200万人へと約4.6倍になった。さらに、2050年には約20億人になると予想されている。アフリカの国では、人口の急増に食糧増産が追いつかず、飢餓に苦しむ人々が少なくなる。また、農地や放牧地の無理な開拓により、砂漠化や熱帯林の破壊がすすみ、食糧不足は今後さらに深刻化することが心配されている。

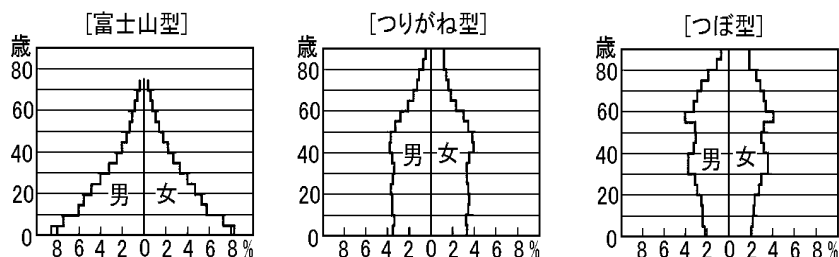
[解答 11]食料が不足する問題

【】人口ピラミッド

[解答 12]ピラミッド

[解答 13] エチオピア 日本

[解説]



エチオピアやインドなどの発展途上国では、出生率が高いため、子どもの人口が多い富士山型の人口ピラミッドになる。先進国では、出生率が低下するため、つりがね型やつぼ型の人口ピラミッドになる。したがって、図 Ⅰ はエチオピアかインドであるが、人口が6500万人とあるのでエチオピアと判断できる(インドの人口は世界第2位で、約11億人)。図 Ⅱ はスウェーデンか日本であるが、人口が1億人以上なので、日本と判断できる。

(統計修正)「世界国勢図会 2011/2012」P66

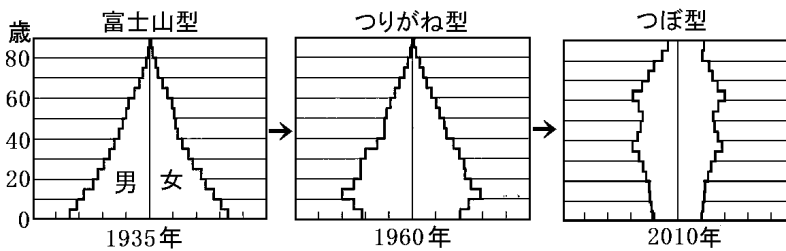
[解答 14]イ

[解答 15]つぼ型

【】日本の人口ピラミッドの推移

[解答 16] → →

[解説]



1935 年のグラフは富士山型である。戦前の日本では、出生率・死亡率ともに高かった  
ので、年少人口が多く、老年人口が少ない人口構成になっていた。出生率が高い現在の  
発展途上国の場合も、この富士山型の人口構成になっていることが多い。

まん中の 1960 年のグラフはつりがね型である。10～20 歳の人口がとくに多くなっているが、これは戦後のベビーブームの影響である(1945 年に太平洋戦争が終わり、結婚が増加し、その結果出生児の数が急増した)。

2010 年のグラフはつぼ型である。60 歳前半の人数が多いが、これは戦後のベビーブームの世代が 60 歳前半になったためである。また、30 歳後半の人数が多いが、これはベビーブームの世代の子ども世代である。20 歳以下の人数が、年少になるほど少なくなっているが、これは少子化の影響である。

(統計修正)「日本国勢図会 2012/2013」P57

[解答 17]イ→エ→ウ→ア

[解答 18] ア 高齢者の割合が高く、子どもの割合が低い。

(統計修正)「日本国勢図会 2012/2013」P57

【】少子高齢化

[解答 19] 高く 4.3 人

[解説]

14 歳以下の人口を年少人口、15 歳から 64 歳までの人口を生産年齢人口、65 歳以上の人口を老年人口という。

老年人口の割合が 7%を超えると、人口の高齢化がすすんでいる社会といわれる。日本では、1970 年ごろに老年人口が 7%をこえ、現在(2011 年)の老年人口は 23.3%になっている。今後はもっと高齢化が進むと予想されている。また出生率は年々低下し、いわゆる少子化も進んでいる。この少子高齢化は、さまざまな面で今後ますます大きな問題

になってくると考えられる。たとえば，高齢者福祉を支える生産年齢人口が減っていくため，1人あたりの負担が増えていくという問題がある。

(統計修正)「日本国勢図会 2012/2013」P54

[解答 20]A

[解説]

65 歳以上の人口割合は次第に増加しているのので，C(1940 年)→1970 年→A(2000 年)→B(2030 年)と判断できる。

[解答 21]出生率が低下して子どもの数が少なくなり，平均寿命がのびて老年人口が一定の割合を超えること。

[解説]

日本は，出生率の低下と平均寿命ののびによって，少子高齢化が急速に進行しつつある。1人の女性が生涯に産む子どもの数を出生率という。長期的に人口を維持できる出生率は2.07人である。戦後のベビーブームのころの出生率は4.3人であったが，次第に減少し1973年には2.14人になった。その後，減少傾向が続き，2010年には1.39人となった。総人口は，2005年までは増加を続けたが，これは平均寿命が延びて高齢者の人口が増加したためである。65歳以上の老年人口が全人口に占める割合は，1965年6.3%→1975年7.9%→1985年10.3%→1995年14.3%→2005年20.0%と増加の一途をたどり，2011年には23.3%となっている。

現在，戦後のベビーブームの世代(団塊の世代)が65歳に達し，老年人口がさらに増加していくことは確実である。出生率が現在の水準で推移するとした場合，2055年には老年人口は全体の約40%に達すると予想されている。

[解答 22]年少人口の割合が低く，老年人口の割合が高い。

[解答 23]ア

[解説]

アは正しい。日本は現在世界一の長寿国である。

イは誤り。食糧不足の問題は解決していない。

ウは誤り。中国の人口増加は，一人っ子政策である程度抑制されてきたが，人口は依然として増加傾向にある。

エは誤り。人口ピラミッドは，先進国はつりがね型，発展途上国は富士山型である。

[解答 24]エ

【】人口密度の計算

[解答 25]21 人/ km<sup>2</sup>

[解説]

(人口密度) = (人口) ÷ (面積) = 27550000(人) ÷ 1290000(km<sup>2</sup>) = 21.35・・・(人/ km<sup>2</sup>)

[解答 26]人口を土地の面積で割る。

[解答 27]D

[解答 28](う)

[解答 29]エ

[解説]

(人口密度) = (人口) ÷ (面積) なので、

(人口) = (人口密度) × (面積), (面積) = (人口) ÷ (人口密度)

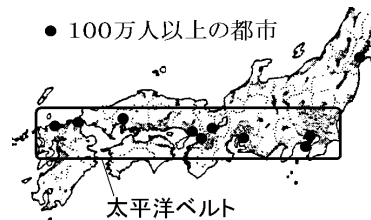
例えば、ア : (面積) = 1315840000 ÷ 137 960 万 km<sup>2</sup>

【】日本の人口の分布

[解答 30]関東地方

[解説]

日本の人口は、おもに太平洋側沿岸に集中している。日本の、関東から北九州までの人口が集中した地域を太平洋ベルト地帯という。この地域は、地形で見ると平野や盆地が多く、産業面から見ると工業のさかんな地域で、札幌と仙台をのぞくすべての 100 万都市は、太平洋ベルト地帯の中にある。



[解答 31]B

[解説]

A は岩手県, B は神奈川県, C は新潟県, D は福井県である。

2010 年現在で、人口密度が 1000 人 / km<sup>2</sup> をこえている都道府県を多い順にあげると、東京都(6016 人 / km<sup>2</sup>), 大阪府(4670 人 / km<sup>2</sup>), 神奈川県(3745 人 / km<sup>2</sup>), 埼玉県(1894 人 / km<sup>2</sup>), 愛知県(1435 人 / km<sup>2</sup>), 千葉県(1206 人 / km<sup>2</sup>), 福岡県(1019 人 / km<sup>2</sup>)で、三大都市圏に集中している。人口密度が少ない都道府県を少ない順にあげると、北海道(70 人 / km<sup>2</sup>), 岩手県(87 人 / km<sup>2</sup>), 秋田県(93 人 / km<sup>2</sup>)である。

なお, C の新潟県は 189 人 / km<sup>2</sup>, D の福井県は 192 人 / km<sup>2</sup> である。

(統計修正)「日本国勢図会 2012/2013」P64

[解答 32]多くの労働力を確保しやすいこと。

### 【】過密の問題

[解答 33]過密

[解説]

ある地域に人口や建物などが集中しすぎることを過密<sup>かみつ</sup>という。日本の大都市の中心部には、官庁・企業のオフィス・商業施設が集まり、そのまわりには住宅地が広がっている。この住宅地の多くも 1km<sup>2</sup>あたりの人口密度が 1 万人を超える過密地域になっている。このような過密地域では、高い土地の値段、通勤<sup>つうきん</sup>ラッシュ、公害の問題などが深刻である。

都心部の地価が上昇し、人々は、比較的安い土地が得られる郊外のニュータウンなどに住むようになった。その結果、都心部の人口が大きく減少する一方で郊外の人口が増加し、人口が都心を中心にしてドーナツのように分布するようになった。この現象をドーナツ化現象という。ただ、バブル経済が崩壊<sup>ほうかい</sup>した 1990 年代以降、地価が安定してきたこともあって、再開発<sup>さいかいはつ</sup>された都心部の高層住宅に住む人が増える都心回帰<sup>としんかいかい</sup>の現象も見られるようになっている。

[解答 34]ニュータウン

[解答 35]人口が集中すると、朝夕の交通量が増えて、交通渋滞が問題となるため、道路や鉄道網を整備するなどして、その緩和をはかっている。

[解答 36]大阪府などへ通勤・通学する人が多いから。

[解説]

滋賀・兵庫・奈良・三重・和歌山は昼夜間人口比率が 100%未満になっているが、これは、通勤や通学などで大阪府などに移動するため、昼間人口が少なくなっている。

(統計修正)「日本国勢図会 2012/2013」P68

[解答 37] 昼間人口が夜間人口より少ない。 昼間に大阪府などへ通勤、通学する人が多いから。

(統計修正)「日本国勢図会 2012/2013」P68

【】過疎の問題

[解答 38]過疎地域

[解説]

ある地域の人口が少なくなりすぎることを過疎かそという。過疎地域では、バスや電車の運行が廃止されたり、学校などの公共的な施設の運営管理が困難になったり、若い人が減って祭りなどの行事ができず、村の活気が失われたりするなどの問題がある。なかには、住む人がいなくなり、廃村となった例もある。

[解答 39]ウ

[解答 40]平野